

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

強いからだと美しい心をもった児童を育成する

○考える子 ○健康な子 ○素直な子

【目指す子ども像】 ふるさとに誇りにもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

【ミッション（使命）】 自立した大人になるための基盤をつくる。

【ビジョン（経営展望）】 自信と希望をもって中学校へ進むことができるための学びを保証する教育を追究し続ける。

(2) 経営方針

方針1：授業力が向上する主題研究体制の構築

児童が互いに聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深めようとする子の育成を目指し、児童が自信と希望をもって中学校に進む学びを保証する教育を追究する。そのために、主題研究推進委員会を中心として研究を進め、教職員の授業力を向上させる。

方針2：目標管理による学年・学級経営の展開

授業と学級経営は切り離せないものであり、安定した学級経営が授業の質を高め、また、授業での学びの高まりが学級を成熟させていく。6年間の児童の成長を見据えて、各学年末での児童のあるべき姿を目指し、児童の成長をつなげていくことができる学年・学級経営を保証する。

方針3：児童の主体的な活動を育む支援体制の強化

自信と希望をもって中学校に進むためには、自分で自分を育てるという主体的な態度を身に付ける学びを保証する必要がある。この学びを保証する教育を追究するために、学校行事や児童活動への支援体制を強化していく。

方針4：地域の人々とともに地域愛を育む教育活動の構築

地域の一員として自立した大人になるために、地域を愛し、誇りに思うとともに、地域に貢献しようとする心が育つ学びが必要である。この学びを保証する教育を追究するために、地域行事や伝統文化が多い吉浜地区の強みを生かし、地域の方々とともに児童を育む教育体制を整える。

(3) 本年度の重点目標

①方針1について

- ・年3回の全体授業研究を通して、PDCAサイクルを生かして主題研究をマネジメントする。
- ・「教員の自己評価3段階」及びその結果を、各教職員の授業改善活動に活用する。
- ・聴き方・話し方の指導、振り返り活動の継続とともに、主体的・対話的な学びの流れをデザインする単元構想等を工夫することで、主題研究「学びを深める子」を育む授業づくりを進める。

②方針2について

- ・安定して授業の質を高められる学級に育てるための学級経営上の課題と目標を明確にし、PDCAサイクルで学年・学級経営を進めていく。
- ・居心地のよい安心な場所となる学級に育てるために、現状を振り返り、互いのよさを認め合うスピーチタイムや話し合い活動などの手だてを更新しながら指導を進める。

③方針3について

- ・児童が自分たちで考えて実行し、振り返り、次の活動につなげることができる学校行事・児童活動・学級活動を位置付ける。また、自分の成長を実感する異学年交流や異校種交流を進める。

④方針4について

- ・ふるさとに誇りをもち、地域の方へ感謝する気持ちや地域に貢献しようとする気持ちを育む活動を、地域の方との意思の疎通を図り、教育課程に位置付ける。
- ・学校だより・学年だより・ブログなどで、学校から保護者や地域に積極的に情報発信するとともに、地域、保護者の意見を学校運営に生かし、協働して学校づくりをする。

⑤多忙化解消にかかる業務改善について

- ・会議の削減及び事務処理に関する業務の簡略化を進める。
- ・学校行事・児童活動・学級活動、行政機関や各種団体からの依頼による出前授業等、さまざまな教育活動を見直し、簡略化や削減により、多忙化解消を図る。